

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	放課後児童健全育成事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課		
総合計画体系			根拠法令計画など	児童福祉法		
基本政策(大項目)	1	健康で安心して暮らせる鳴門づくり		事業期間	開始	平成 14 年度
政策(中項目)	1	子どもいきいき元気都市 なる				
(小項目)	児童福祉		終期		未定	
施策	2	児童福祉の推進				
基本事業	1	児童の健全育成				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内に居住する小学校児童と幼稚園児で昼間保護者のいない家庭の児童														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	保護者の仕事が終わるまでの安全の確保及び遊びや学習活動を通して自主性、社会性、創造性を身につける														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童クラブ登録人数</td> <td>520</td> <td>520</td> <td>520</td> <td>520</td> <td>520</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位	児童クラブ登録人数	520	520	520	520	520	人
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位										
児童クラブ登録人数	520	520	520	520	520	人										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	平成23年4月林崎さくら児童クラブと林崎ひまわり児童クラブが合併 平成23年10月に大津西児童クラブを開設						
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名			22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市児童クラブ数	14	14	14	14	14	クラブ
	2	平均年間開所日数	290	290	290	290	290	日
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	児童クラブ登録人数		518	514	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)		98.8		—	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		89,696	69,868	65,489	65,489	65,489	千円
	財源内訳	国	4,000	20,509	19,052	19,052	19,052	
		県	49,415	20,509	19,052	19,052	19,052	
		地方債	7,000	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	29,281	28,850	27,385	27,385	27,385	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,303	1,303	1,303	1,303	1,303	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		90,999	71,171	66,792	66,792	66,792	千円	

【事務事業名：放課後児童健全育成事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	市内14か所の児童クラブにおいて昼間保護者のいない児童に対して遊びや生活の場を提供する。また、小学校・幼稚園児童の放課後の安全な居場所を充実させるため、事業の内容・実施方法について適宜見直しを行い、対策を図る。
----------------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	放課後から保護者の仕事が終わるまでの時間を安全に過ごせる場を提供することは必要性の高い事業である。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 児童福祉の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	目標の達成に向けて、有効な事業である。
<input checked="" type="checkbox"/>		① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。		
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	国・県からの補助金をもとに、効果的に実施している。	
	<input type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> ▼ ▼			
	どのように改革するのか				